

日 時 平成30年12月5日(水)

11:00~12:10

場 所 小学部教室

1 単元名 ミッキーカフェをしよう！

2 単元について

本グループは、重複障がい学級10名のうち、おもてなしを担当する6名のグループである。児童たちは、休憩時間に一緒に遊んだり、「一緒に~しよう。」と誘い合ったりして友だち同士で関わり合うことができる。大人を招待したり、学年団以外の教師と活動したりするなど人との関わりを楽しみに生活することができる。教師が仲立ちをして話し合いをする中で、自分の考えを発表したり、友だちの意見に付け加えて発表して新たな気づきにつなげたりすることもある。また、活動や分担する仕事を譲り合ったり、音楽のダンスの振り付けを自分たちで考えたりと、互いのアイデアを深め、活動を自分たちなりにより楽しいもの、よいものにしようとする姿も見られる。日常生活では、係活動や朝の会の決められた役割、学習の準備や片付けなど、やることが分かり、自分から進んでできる児童が多いが、他のことに気が向き、しなければいけないことがなかなか進まない児童や教師の声かけや促しが必要な児童もいる。また、給食などトレイに入れたものを運ぶときに、こぼさないように運ぶことや机やテーブルに置くときにゆっくりと置いていねいに置くなどの配慮ができない児童もいる。

昨年度カフェの学習を行い、お礼の手紙をもらったり、お礼を言われたりして達成感を感じた児童や、本年度高等部の「火木カフェ」の準備や作業学習の様子を見学し、高等部生徒の作業する姿にあこがれをもった児童にとって、教師やおうちの人など関わりのある人を招待するカフェを開く本単元は、多くの人と関われる、喜んでもらえる経験をし、児童の興味・関心、意欲を引き出していくことができると考える。活動の中に話し合い活動を設定し、アイデアを出し合うことで、自分の考えを友だちに伝えたり、友だちの意見を聞いたり、自分の思いに気づき深めたりする機会が設定できる。そして、話し合ったアイデアを生かしたカフェにすることで、準備や活動などに意欲をもって進んで取り組んだり、さらに、実際にいろいろな人を招待して感謝されることで達成感を感じ、次への意欲につなげられたりするのではないかと考える。人に喜んでもらおうと進んで取り組む活動を通して、達成感や成就感を感じる経験を積み重ねることが、生活をたのしむ姿につながり、将来働くことの土台となる意欲や態度につなげられるのではないかと考える。

指導にあたっては、まず児童がお客さんとなってカフェを体験する場面を設定する。この体験や今までの経験によりお客さんが気持ちよく過ごせるための工夫やお客さんに喜んでもらえるためのアイデアを児童の話し合いで引き出したり、お客さんへの接し方で気をつけることに気づけるような声かけをしたりしていきたい。そして、話し合いをもとにグループに分かれてカフェの準備をしていく。カフェの名前も児童の考えを取り入れて決めていきたい。準備を進める中で困ったり戸惑ったりしても、児童同士でどうしたらいいのかを考えさせるために教師はできるだけ見守り、児童がより友だち同士の関わりを深めるようにしていきたい。また、児童にとって身近な高等部の火木カフェを見学しておもてなしの方法などを学ぶ機会をもちたい。カフェではいろいろなお客さんを招き、実際にもてなす活動を行うことで、相手が喜ぶ姿を見たり、感謝の言葉をかけてもらったりすることで達成感を感じることができるようしていきたい。そして、自分の役割を果たすことがお客さんの喜びにつながることも感じてほしい。さらには自分に任されている担当の仕事や準備などを自分たちでやっという意欲につなげていきたい。

3 単元目標

- ・お客さんに喜んでもらえるもてなし方や自分の担当する準備や片付けがわかり、活動に取り組むことができる。 【知識・技能】
- ・お客さんに喜んでもらうために必要な準備やアイデアを出したり、もてなすためにどうしたらよいか考えて活動したりすることができる。 【思考・判断・表現】
- ・カフェをすることを楽しみにして、進んで話し合ったり、活動に取り組もうとしたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】

4 指導計画（全27時間）

- ・第1次：カフェの準備をしよう（14時間）
- ・第2次：おもてなしをしよう（本時 9・10／13時間）

5 5つの力との関連

- 2 かかわる／（1）自分からの発信／①気持ちの伝達
- 5 はたらく／（1）はたらく意欲・態度／③役割・責任感
（2）はたらく技能／③準備・片付け

6 児童の単元に対する個別の目標

児童名	単元に対する個別目標
児童A	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんに伝わるようにゆっくり話すことや自分たちで決めた担当の仕事（準備・片付け・接客・終わりのあいさつ）が分かり、活動に取り組むことができる。 【知識・技能】 ・必要な準備やカフェ当日の活動のアイデアを理由をつけて発表したり、お客さんに喜んでもらうもてなし方を考えて活動したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・カフェをすることを楽しみにして、進んで意見を発表したり、活動に取り組もうとしたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】
児童B	<ul style="list-style-type: none"> ・手を清潔にしたり、身だしなみを整えたりすることや自分たちで決めた担当の仕事（準備・片付け・接客・はじめのことば）が分かり、活動に取り組むことができる。 【知識・技能】 ・必要な準備やカフェ当日の活動のアイデアを理由をつけて発表したり、お客さんに喜んでもらうもてなし方を考えて活動したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・カフェをすることを楽しみにして、進んで意見を発表したり、活動に取り組もうとしたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】
児童C	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんに聞こえる声で話すことや自分たちで決めた担当の仕事（準備・片付け・接客・司会）が分かり、活動に取り組むことができる。 【知識・技能】 ・必要な準備やカフェ当日の活動のアイデアを理由をつけて発表したり、教師の支援を受けながらお客さんに喜んでもらうもてなし方を考えて活動したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・カフェをすることを楽しみにして、進んで意見を発表したり、活動に取り組もうとしたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】
児童D	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物をこぼさないようにゆっくり丁寧に運ぶことや自分たちで決めた担当の仕事（準備・片付け・接客・はじめのあいさつ）が分かり、活動に取り組むことができる。 【知識・技能】 ・必要な準備やカフェ当日の活動のアイデアを発表したり、教師の支援を受けながらお客さんに喜んでもらうもてなし方を考えて活動したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・カフェをすることを楽しみにして、進んで意見を発表したり、活動に取り組もうとしたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】
児童E	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物をこぼさないようにゆっくり丁寧に運ぶことや自分たちで決めた担当の仕事（準備・片付け・接客・終わりのことば）が分かり、活動に取り組むことができる。 【知識・技能】 ・必要な準備やカフェ当日の活動のアイデアを発表したり、教師の支援を受けながらお客さんに喜んでもらうもてなし方を考えて活動したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・カフェをすることを楽しみにして、進んで意見を発表したり、活動に取り組もうとしたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】
児童F	<ul style="list-style-type: none"> ・手を清潔にすることや自分たちで決めた担当の仕事（準備・片付け・接客・司会）が分かり、活動に取り組むことができる。 【知識・技能】 ・必要な準備やカフェ当日の活動のアイデアを発表したり、教師の支援を受けながらお客さんに喜んでもらうもてなし方を考えて活動したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・カフェをすることを楽しみにして、進んで意見を発表したり、活動に取り組もうとしたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】

7 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・今日のお客さんに喜んでもらえるカフェにするために気をつけることが分かり、カフェでの準備や片付け、担当の仕事を行うことができる。 **【知識・技能】**
- ・お客さんに喜んでもらうために気をつけることを意識して活動することができる。 **【思考・判断・表現】**
- ・準備や片付け、カフェでの接客や会の進行などの活動に進んで取り組もうとすることができる。 **【主体的に学習に取り組む態度】**

(2) 学習の展開

学習活動	教師の支援	評価
1 あいさつ		
2 学習内容の確認	★学習の流れが分かるように、スケジュールやカレンダーを用意する。	
3 歌	★気分を盛り上げるために歌を歌って始める。	
4 カフェの準備・練習 ・準備物 (机、いす、クリームテーブル、看板、プログラム、メニュー表、進行表、飾り、ふきん) ・個別の準備物 (目標カード、接客の手順書)	★本時の目標(がんばるところ)を相談したり、一緒に確認したりする。 ★それぞれの準備物が分かるように準備分担表を用意する。 ★1人で準備が難しい場合は、友だちに声をかけて一緒に準備するように促す。 ★担当の仕事最後までやり遂げられるように、準備が終了したら分担表に「できました」磁石を貼るようになる。 ★おもてなしのポイントを示し、あいさつや声の大きさなどを確認したり、あいさつ練習をしたりする。	◆分担表を見て、自分の準備物が分かったか。 【知識・技能】 ◆自分の担当の準備に進んで取り組もうとすることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】
5 カフェをしよう ・レジで注文を聞く ・お茶とお菓子を運ぶ ・あいさつ ・はじめのはなし ・ダンス ・プレゼント渡し ・感想を聞こう ・おわりのはなし ・あいさつ	★カフェの流れがわかるように、スケジュールを提示したり、進行表を用意したりする。 ★接客の手順書を用意したり、適度な大きさの声であいさつできるように教師が見本を見せたりする。 ★動きが止まってしまった児童には、周囲の人に依頼するように促す。周囲の児童にはどういった対応をしたらいいのかを考えさせるために教師はできるだけ見守るようにする。 ★実態に応じてトレイにコップや皿の位置を示した配膳図を貼っておく。 ★配膳する、運ぶなど1つ1つの活動をゆっくりと行いに行うことを確認する。 ★お客さんから感想を聞く時間を設定し、児童の達成感や次時への意欲につなげるようにする。	◆お客さんに喜んでもらえるために気をつけることが分かったか。 【知識・技能】 ◆お茶をこぼさないようにゆっくりと運んだり、お客さんに伝わる話し方で話をしたりなどに気をつけて活動することができたか。 【思考・判断・表現】 ◆接客や会の進行など、自分の担当の仕事に進んで取り組もうとすることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】

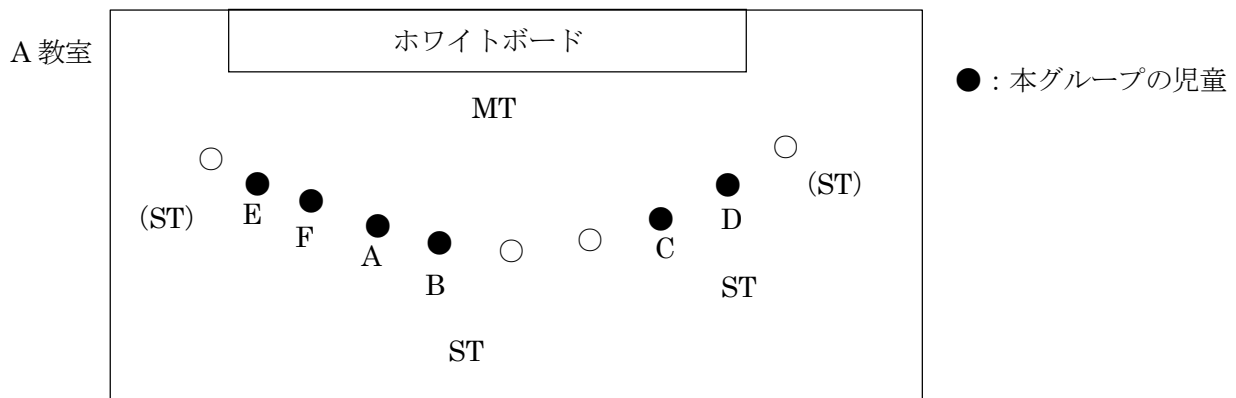
<p>6 片付け</p> <p>7 あいさつ</p>	<p>★次時のふりかえりに生かすことができるように、カフェに来てくださったお客さんに良かったところと改善点を書いてもらう。</p> <p>★それぞれの片付けるものが分かるように片付け分担表を用意する。</p> <p>★担当の仕事を最後までやり遂げられるように、片付けが終了したら分担表に「できました」磁石を貼るようになる。</p> <p>★次時に今日のふりかえりを行うことを伝える。</p>	<p>◆分担表を見て、自分の片付けるものが分かったか。</p> <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p> <p>◆自分の担当の片付けに進んで取り組もうとすることができたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>
----------------------------	---	--

(3) 準備

学習のスケジュール、カレンダー、個別の目標カード、カフェの準備・片付けの分担表、磁石、身だしなみチェック表、カフェのプログラム、進行表、接客の手順表、おもてなしのポイント、メニュー表、チケット、配膳の配置図

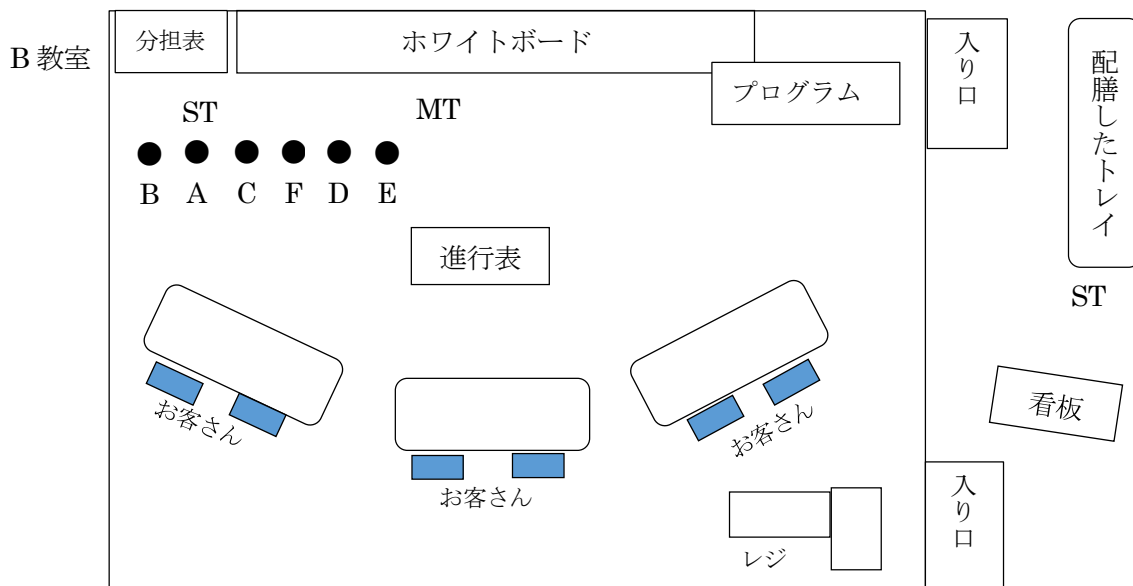
(4) 場の設定

- 1 あいさつ 2 学習内容の確認 3 歌



- 4 カフェの準備・練習 5 カフェをしよう 6 片付け 7 あいさつ

*お客さんにおもてなしをするときは、廊下のクリームテーブルにある飲み物とお菓子を取りに行き、お客さんのところまで運ぶ。



日 時 平成30年12月5日(水)
10:20~11:35
場 所 中学部教室、図書室、
教室前廊下

1 単元名 「みんなで〇〇さぎょうしょをつくろう」

2 単元について

本学年グループは、10名の生徒が在籍している重複障がい学級のグループである。障がいは多様であり、障がい特性や理解の程度、作業能力等、個人差が大きい。絵カードやメモ等視覚的な手がかりで示したり、簡単な口頭指示をしたりすることで、指示内容を理解し行動することができる。半数の生徒は簡単な言語を使って表現するが、発語が不明瞭だったり、気持ちを言葉でどう表現していいかわからなかったりするため、大きな声や動きで要求を伝えようとする生徒もいる。そのため、生徒同士が関わることや、情報を受容して具体的に発信しあうことが少なかった。そこで、今年度1学期から、自分が考えたことを表現したり、生徒同士が関わりをもてたりすることをねらい、話型カードやiPad等、支援ツールを用いて、自分の考えを表現する場面を、授業内に設定し取り組んできた。その結果、簡単な理由を添えて表現したり、友達の意見を活動の参考にしたり、授業以外の休憩時間でも友達とかかわったりする様子が徐々に増えてきている。しかし、一方で自分の意思を伝える際に教師の支援を必要とする生徒もいる。

こうした実態を踏まえ、本単元では、自分の思いや考えをもち、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めることをねらいとする。そうすることで、自分の意思を表現したり、他の人の意見を参考にしたりすることを通して、生徒自身がそれぞれ自分なりに考え課題を解決しながら生活ができるようになることを目指したいと考えるからである。主体的な活動となるように、生徒が日頃から意欲と自信をもち、今までの知識・技能も活かせる製作活動や清掃活動を取り入れる。お互いの考えを伝え合うことで、他者の意見や活動の様子を参考にし、自分でめあてを決めて取り組むことができるように、グループでの活動とする。また、関わる人を広げて「人が喜んでくれるにはどうしたらよいか」を伝え合う経験を重ねるために、教師からの製作や清掃の依頼を受けて応える活動を設定する。

指導にあたっては、生徒が自らの気持ちや考えを表現しやすいように話型カード等を用いた方法を取る。話型カード等を用いることで、視覚情報に基づいて自分の考えをまとめることができ、生徒が順序立てて、言葉を選ぶことで、自分が考えていることを整理することができるようにしたい。また、自分や友達の活動の様子を動画視聴し合うことで、お互いの良かったことを認め合い、伝え合う機会を設定する。そのことによって、集団として、お互いの気持ちを共有することにつなげたい。また、自分で活動を選択する場面を設け、実際に活動したことを言葉にして表現することで、取り組んだ状態や見えにくい動き等を言語に変換して、自分の活動について客観的に理解することを促したい。そのために、グループで活動する友達をモデルとして捉えて、お互いによさを取り入れながら、変容するように配慮したい。

3 単元目標

- ・製作活動や清掃活動を通して、自分の考えや経験を伝え合うことができる。【知識・技能】
- ・グループ活動を通して、お互いに友達の良さに気づき、友達や教師と伝え合うことができる。【思考・判断・表現】
- ・友達の意見や活動の様子を参考にし、より良い活動になるように、自分のめあてに向かって取り組むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】

4 指導計画(全24時間)

- ・第1次: チラシをくぼろう(6時間)
- ・第2次: おねがいされたことをやってみよう(本時12/14時間)
- ・第3次: やって見たかんそうをつたえあおう(4時間)

5 5つの力との関連

- 1 ささえる／(3) 自己理解／②得意・苦手
- 2 かかわる／(1) 自分からの発信／③要求・援助
- 5 はたらく／(1) はたらく意欲・態度／②役割・責任感

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・友達や教師と、取り組んできた活動の良かったことを伝え合うことができる。【知識・技能】
- ・お互いの活動の良さを感じ、自分の活動に取り入れたいことを考えて選び、友達や教師に伝えることができる。【思考・判断・表現】
- ・友達の意見や活動の良いところを参考にし、自分の活動をより良くして取り組んでいこうとすることができる。【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 学習の展開

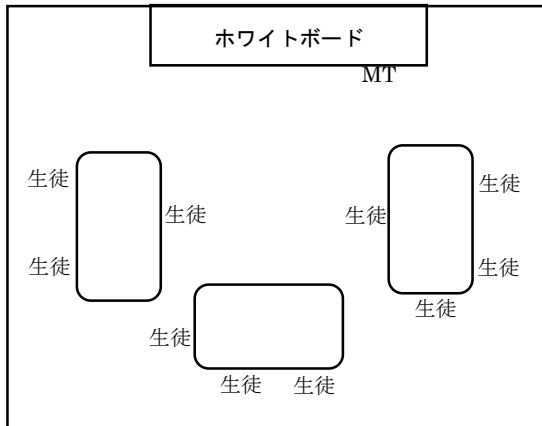
学習活動	教師の支援	評価
<p>1 あいさつ</p> <p>2 本時の学習について知る。</p> <p>3 前時の取り組みで、よかったことを知る。</p> <p>4 グループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人のめあてを確認する。 ・製作活動や清掃活動等に取り組む中で、自ら決めた方法で活動する。 <p>5 振り返りをする。</p> <p>○グループで振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートをもとにグループで振り返りを行う。 ・めあてに向かって活動できたか自己評価し、今後挑戦したいことを伝える。 	<p>★生徒の取り組みでよかったことを、動画や文字を用いて示し、見てわかるようにする。</p> <p>★活動をする上で、大切にしたいことを個人やグループで考えたり、選択肢から選んだりする時間を設ける。</p> <p>★生徒それぞれが決めた大切にしたいめあてを、自分で確認できるように掲示する。</p> <p>★活動の様子を動画撮影し、後から自分の活動の様子を客観的に確認できるようにする。</p> <p>★生徒がめあてとして決めたやり方を示すイラスト等と同じようにできているか、動画と見比べて確認する時間を設定する。</p> <p>★喜んでもらうために、自分の活動のやり方で良かったことについて、話型にして友達や教師に伝えられるように、キーワードを記した話型カードを用意する。</p> <p>★友達の活動の良さを参考にするために、お互いの活動の様子がわかる動画を示し、今後のめあてを考えたり、</p>	<p>◆友達や教師と、取り組んできた活動の良かったことを伝え合うことができたか。【知識・技能】</p> <p>◆お互いの活動の良さを感じ、自分の活動に取り入れたいことを考えて選び、友達や教師に伝えることができたか。【思考・判断・表現】</p> <p>◆友達の意見や活動の良いところを参考にし、自分の活動をより良くして取</p>

<p>○全体で振り返り（教室）</p> <p>6 教師の話 ・次回学習の予告</p> <p>7 あいさつ</p>	<p>イラスト等を用いて選択したりする時間を設定する。</p>	<p>り組んでいこうとすることができたか。【主体的に学習に取り組む態度】</p>
--	---------------------------------	--

(3) 準備

ビデオカメラ、ホワイトボード、油性マーカー、話型カードとワークシート
 製作活動（かざりづくり）：道具（絵の具、筆、パレット、バケツ、霧吹き）、画用紙
 清掃活動：ほうき、モップ、スウィーパー、雑巾、霧吹き

(4) 場の設定



中学部 教室（集合時）※グループの編成により変更あり。

日 時 平成30年12月5日(水)

9:45~10:30

場 所 大体育館

1 単元名 ゴー! ゴー! チャレンジサーキット!!

2 単元について

生活コースの体育Aグループは、重複障がい学級の17名で構成されている。生徒たちが日常生活で体を動かす場面は、体育や体力づくりなどが中心である。運動系の部活動や地域のサークル活動にも参加する生徒もいるがごく少数である。日常的に体を動かして遊んだり、運動したりする経験が少なく、経験不足や障がい特性から体の動きが不器用な生徒が多い。例えば、ラジオ体操で体全体を使えず動きがぎこちなかったり、連続した動きが難しかったりとスムーズさに欠ける。しかし、生徒は運動することが好きで、体育や体力づくりを楽しみにしている。また、認知面においても中度から重度の生徒までおり、教師が示した動きを見てすぐに模倣できる生徒もいれば、繰り返し行うことで動きのパターンが定着し少しずつ一人でできるようになる生徒もいる。

本単元では、基本的な動きを身につけることをねらい、「多様な動きをつくる運動」で内容を構成している。「多様な動きをつくる運動」は、生徒にとって楽しく魅力的な活動を仕組むことができ、生徒が体を動かす楽しさや心地よさを味わうと共に、生涯にわたって運動する体づくりにつながるを考える。中でも、バランスをとる、くぐる、跳ぶ、支えるなどは生徒が苦手としている動きだが、課題にせまるための様々な種目を設定していくことで、楽しみながら習得をねらうことができる。また、サーキット走にすることで、動きの習得だけでなく、運動量の確保することができ、体力の向上にもつながる。これは、繰り返し取り組むことで動きを習得する生活コースの生徒の実態に合った学習であると考え、本単元を設定した。

指導に当たっては、サーキット走を「やってみたい」と思えるような活動の場を設定していきたい。生徒の関心・意欲が持続するような魅力ある複数の活動の場を設定したり、サーキット走をする時に流す音楽も効果的に活用したりしていく。特に場の設定については、サーキットで行う様々な種目の中に、確実にできる課題、頑張ればできる課題、少し支援があればできる課題など段階に応じて選択肢を作り、生徒が「できた」と感じるためにできる状況を作っていく。「できる状況」を作ることで、生徒が持っている力を発揮したり、「やってみよう」と主体的に活動に取り組んだりできるようになると考える。また、いきなりサーキット走を行うのではなく、単元の最初にサーキット走のいろいろな運動のやり方を伝え、体験する場面を作ることで、運動のやり方を知り、体の動かし方を学ぶ機会を設定する。慣れてきたらサーキット走の場の設定にも少しずつ変化を加えていくことで、どう体を動かせばよいか考えながら活動に取り組めるように仕組んでいきたい。生徒が動きのポイントを意識できるように教師が見本を示したり、活動中でのよい動きを即時評価したりしていくことで、どのような動きがよい動きなのか生徒にわかるようにしていく。振り返りでは、周数の記録や生徒ができるようになった動きの発表を行い、目に見える形で生徒に伝えることで、生徒がチャレンジしたいという気持ちを育み、楽しみながら達成感が得られるようにしていきたい。

3 単元目標

- ・バランスをとる、くぐる、跳ぶ、支えるなど体の基本的な動きを身につけることができる。

【知識・技能】

- ・自分でやってみたい課題を選んだり、運動のやり方を考えたりしながら、体を動かすことができる。

【思考・判断・表現】

- ・友達と一緒にサーキット走を楽しむことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

4 指導計画（全10時間）

- ・第1次：サーキット走のいろいろな運動のやり方を体験しよう！（2時間）
- ・第2次：サーキット走に時間いっぱい取り組もう！（本時 4／8時間）

5 5つの力との関連

- 1 ささえる／（1）身体・動き／①体力③粗大運動協応⑥姿勢保持
- 4 たのしむ／（1）自己表現／⑧運動・スポーツ

6 本時の学習

（1）本時の目標

- ・体全体を使って、バランスをとる、くぐる、跳ぶ、支えるなど体の基本的な動きをすることができる。 **【知識・技能】**
- ・体の動かし方のコツを知り、体を動かすことができる。 **【思考・判断・表現】**
- ・様々な課題に自分から取り組もうとすることができる。 **【主体的に学習に取り組む態度】**

（2）学習の展開

学習活動	教師の支援	評価
1 あいさつ	★生徒が見通しを持てるように学習のスケジュールを示す。	
2 ラジオ体操	★ラジオ体操の中から動きを意識できるように、ポイントを示し練習をする。 ★生徒が注目しやすいように、ラジオ体操の動画をプロジェクターで大きく映す。 ★画面をしっかりと見たり、ポイントを意識したりしている生徒を称賛し即時評価を行う。	
3 サーキット走 1) 目当ての確認 2) 見本 3) サーキット走	★動き方の思考を促すために、今までのサーキット走の「くぐる」の課題に少し変化を加える。 ★動き方のコツを教師と生徒の見本で見せる。 ★生徒が一人でうまくできた時には、具体的に即時評価を行う。 ★いろいろな運動にチャレンジしている生徒を称賛する。 ★生徒が一人でうまくできないときは、教師が見本を示したり、生徒の動きを身体支援したりする。 ★自分が何周したかわかるように1周ごとにホワイトボードにマグネットをつけていく。 ★自分がどの「くぐる」の種目ができたかわかるように視覚的に示す。 ★初めと終わりがわかるためにBGMを流す。	◆体全体を使って、バランスをとる、くぐる、跳ぶ支えるなど体の基本的な動きをすることができたか。 【知識・技能】 ◆体の動かし方のコツを知り、体を動かすことができたか。 【思考・判断・表現】 ◆様々な課題に自分から取り組もうとすることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】
4 振り返り	★サーキット走への意欲を高めるために、周数の記録が伸びた生徒やいろいろな「くぐる」の動きにチャレンジしていた意欲的な生徒の紹介を行う。 ★毎回のサーキットの周数などをカードに記録する。	

5 片付け	★何を片付けたらいいか困っている生徒に指示を出す 役、器具庫で待ち受ける役など教師が役割を分担する。	
6 あいさつ		

(3) 準備

平均台 (低)、平均台 (高)、ソフト平均台、フラフープ (大)、フラフープ (小)、いろいろな大きさのコーン、コーンバー、ポール、ミニハードル、ケンステップ、なんでもマーク、ぞうきん、プロジェクター、パソコン、ホワイトボード、マグネット

(4) 場の設定

